

シート番号	7101-12	名 称	解散記念碑
分 類	記念碑	場 所	大和田 大和田公園
小 分 類	公共事業碑	メッシュ番号	1818
年 号	和暦：昭和 57 年 6 月 西暦： 1982 年		
形 状	厚板型		
サ イ ズ	本体：186×240× c m 台石：38×240×80 c m		
画像番号	7101-12-01 (前)		
			
画像番号	7101-12-02 (前右)	画像番号	7101-12-03 (裏)
 <p style="text-align: center;">解散記念碑文</p>		 <p style="text-align: center;">君津市大和田土地区画整理組合 ※役員名、事業の概要他は別紙参照</p>	
コメント；碑文・役員名、事業の概要は次ページ参照。			

解散記念碑

本事業は 昭和36年世界的企業である新日本製鉄KK（当時八幡製鉄）の進出により始まった

当時 人口13,000人の小寒村は大企業の受入れに際し 工業地帯造成用地として海面埋立てによる漁業権の放棄及び企業の進出による地域の都市化現象が予測されるため 本市の将来の核づくりとすべき地域開発に取り組んだ

工場建設が進むに従い日増しに人々が増加する傾向にあり 工場の完成と同時に急激な社会的人口増が顕著となりこれらの収容施設の確保と工業地帯の後背地として理想的な市街地形成を図るため君津市内第1番目としての土地区画整理事業を 大字大和田 大字人見 大字中富の各一部 面積378323㎡を区域として昭和43年12月12日建設大臣の認可を得て実施することとした

設立当時 内房線の両側とも高低差の少ない水田地帯で 農業を中心とした半農半漁を営む者が多かったこの地域を15年間の歳月と約15億円の事業費を投じ 君津市役所の指導援助のもと役員及び組合員の積極的な努力により 上水道 下水道 都市ガス 公園等公共施設を整備新設し 健全かつ機能的な住宅地を造成した。

よって ここに事業の完成を記念して之を建立する

昭和57年6月

君津市大和田土地区画整理組合

君津市大和田土地区画整理組合

役員	事業の概要	
理事長 茂田正巳	建設省認可年月日	昭和43年12月12日
副理事長 中野久義	認可時の組合人数	97名
〃 中野一郎	総施行面積	378.323.80 平方メートル
会計理事 鳥取隆雄	公共減歩地積	46.046.47 平方メートル
〃 中野一男	保留地面積	25.689.51 平方メートル
〃 茂田一夫	公共減歩率	14.06 パーセント
理事 廣部友吉	公共保留地合算減歩率	21.91 パーセント
〃 伊藤猪吉	総事業費	15 億円
〃 茂田 隆	仮換地指定年月日	昭和44年3月5日
〃 長谷川延芳	換地処分年月日	昭和56年5月23日
〃 小松喜一	換地処分公告年月日	昭和56年12月4日
〃 中野 栄	事業終了年度	昭和57年
〃 榎本 勇	施工業者	飛島建設(株) 不動建設(株) 勝村建設(株)
〃 広瀬 潔		東亜道路(株)
〃 広瀬 優		岩沼産業(株)
〃 故小松寅吉		福岡土地区画整理組合
〃 故榎本喜一		
監事 茂田豊作		
〃 長谷川武		
〃 故中野岩男		
評価委員 茂田正治	設計換地業務	
〃 榎本栄市		
〃 中野昭二		
〃 廣部辰雄		
〃 榎本 隆		

財団
法人